

東京里帰りプロジェクト

『東京里帰りプロジェクト』は、被災地から東京に避難を希望する全ての妊産婦さんが東京に避難し、安心して産前産後の生活を送れるよう、東京都助産師会を母体として始動したプロジェクトです。



概要

本プロジェクトは、助産師が出産および産前産後の生活をボランティア家庭と協力してお手伝いすることで、被災地の妊産婦さんが実家に「里帰り」するような気持ちで安心して過ごせる環境を提供します。東京都内にある25カ所の助産院では、常時、産前産後の方約50人の受け入れが可能です。



対象

● 妊娠中～産後1年までの被災者の方

上のお子さんがいらっしゃるでも大丈夫です。ご家族で、という方もご相談ください。

費用

● 出産費・退院後のホームステイ滞在費* 最長半年間のアパート滞在費無料*

● 4泊5日を超える産後入院1日2千円

1日3食、助産師によるケア付 (*基金からも充当可能)

基本的な流れ



申し込み

パソコン、携帯サイト、電話にて(下記参照)



出産・入院

東京都内にある助産院やご紹介する都内産婦人科にてご出産。助産院にて産後入院。



数カ月間の都内滞在

「助産院と提携を結んだ一般協力家庭に移り、ホームステイ」または「エイブルCHINTAIホールディングスのアパートに入居」の形。数日のホテル滞在(ANAインターコンチネンタルホテル)も可。



【出産】

出産は助産院または産婦人科でできます。妊婦さんは出産育児一時金の42万円、提携の病院で自己負担なくお産が可能です。42万円には通常の4泊5日入院費用も含まれます。

【産後入院】

- 通常の4泊5日入院以降の滞在(産後入院)を、助産院でできます。(2~3週間を想定)
- 被災地でお産をした場合や、提携産婦人科でお産をした場合でも、産後入院は助産院で可能です。
- 産後入院費用は、1日2千円で3食付、産後のケアを受けられます。支払いが難しい場合は基金から全額充当することも可能です。
- 出産～産後入院中は助産師が24時間常駐です。(妊娠中・ホームステイ中も助産師による出張ケアあり)
- 助産院滞在中に、お住まいに戻られる方、一般家庭にホームステイなさる方、アパートに入居される方、などのご希望を伺い、おひとりおひとりの希望に沿った案内をさせていただきます。

【退院後】

- ホームステイは、プライバシーを守れる個室と1日2食付で無償で受け入れていただきます。
- ご家族といらっしゃる方などに最長半年間、家賃無料でアパートをご紹介します(水道/光熱費等は入居者負担)



*寄付金は、東京都助産師会が独自に募る寄付、自治体からの補助金、ジョイセフから充当予定。



▲携帯サイト

■ 問い合わせ先

東京都助産師会 東京里帰りプロジェクト窓口【担当：丑田/宗】
電話：080-3915-9923 (平日 10~16時) / 090-4611-0904 (時間外)

メール：tokyo-satogaeri@freeml.com

※お問い合わせはなるべくHP内の問い合わせフォームからお願い致します

■公式HP(携帯からもアクセス可能)：<http://www.satogaeri.org/>

■公式ツイッター：@satogaeri <http://twitter.com/#!/satogaeri/>



東京都助産師会

■主催：一般社団法人東京助産師会 ■後援：社団法人日本助産師会、国際協力NGOジョイセフ、一般社団法人宮城県助産師会、日本財団CANPAN運営事務局、ソーシャルベンチャー・パートナーズ東京(SVP東京)、エイブルCHINTAIホールディングス、ANAインターコンチネンタルホテル東京 ■協力：NPO法人ETIC、NPO法人マドレボニータ、「知ろう!小児医療守ろう!子ども達」の会、ISB公共未来塾東京地区(株式会社地域協働推進機構)、特定非営利活動法人アースタイムナー・アソシエーション